



North Central College

留学新聞

中村 恵理 | Vol.4 | December, 2022

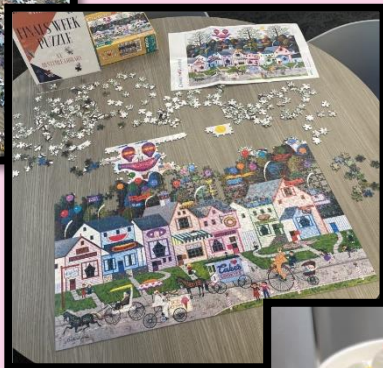
・ 学期末の生活





【学期末 テスト週間】

12月に入るとあっという間に、学期末テスト週間に入りました。基本的にテストの方法は、日本の大学のシステムとあまり変わりありません。テストの一週間は授業がなく、テストのみになります。テストの種類は授業ごとに、レポートの提出やプレゼンテーション、紙でのテストやそれらの混合など様々です。テストや評価の基準はあらかじめシラバスに記載されているので、履修の際に確認するといいかと思います。私の履修した授業は4つのうち2つで、対面でのテストが行われました。それぞれ普段の授業時間に関わらず、2時間取られます。さらに、言語や何かしらの他の能力に不利がある学生は、本人の希望によって、テストセンターという図書館の一室で受験することができます。教授に相談して、予約をすることで活用できるようです。時間も大幅に長くすることができるため、特に期末テストでは使う人が多いようです。朝早くにキャンパス内を歩いていると、紙袋にいっぱいのお菓子を配っているスタッフに遭遇するなどラッキーなこともありました。



テスト期間の図書館には、なんとパズルや塗り絵、無料のスナックやコーヒー、ホットチョコレートなどが用意されていました。時間がないとはいつつ、友人らと夢中になってしまい、気が付いたらほとんど完成というところまで、パズルに時間を割いていました。





履修について

基本的に、2 学期制か 3 学期制に分かれるようですが、ノースセントラル大学は 2 学期制で、秋学期は 8 月下旬—12 月中旬、春学期は 1 月上旬—5 月上旬となっています。よって、中期留学は年末で終了、長期留学は次の年の 5 月で終了となります。留学生は専攻がないので、どんな授業も自由に履修することができます。私は初めの学期に、気候変動の科学のクラス等を履修しました。やはり関心のある内容だと、多少難しい内容などがあっても、受けていて苦ではないと感じました。理系文系、分野にとらわれず、面白そうだと思う授業を取ってみるといいと思います。2 学期目の授業はいつでもスタッフと相談して変更することができるので、一学期目で余裕があり、たくさん取りたい人はクレジット数の少ないものを選んで多めに取ったり、逆に少し緩めたいと思えば大きいクレジット数のものにしたり、時間を考えて取ったりと工夫することもできます。交換留学で単位振替を予定している人は、授業の開始日、終了日と授業がなかった日をカレンダー等に控えておくことをお勧めします。手続きの際に役立ちます。

DYSON DOG DAY

ノースセントラル大学には Dyson Wellness Center という保健室のような役割をする組織があります。ここでは、予防接種やけがの手当て、熱発時の対応、健康管理などを行っています。さらに、身体のみではなく、精神的面のケアも行っています。カウンセリング等のサポートが準備されています。その一環として、テスト期間には Dyson Dog Day というアニマルセラピーがあり、ボランティアの家庭が飼っている犬を体育館に連れてきて、学生たちと会話をしながら交流する機会が作られました。寮に住む学生たちも、なかなか会えない彼らの飼っているペットが恋しいのだろうと、それぞれの写真を見せ合いながらおしゃべりしている姿を見て思いました。





編集後記：今月も読んでいただき、ありがとうございます。12月は、流れるように過ぎて行き、気が付けば1学期が終了していました。中期留学者はこの時期で帰国することになると思います。しかし、個人的には半年でも多くのことを学び、感じ取り、何より生まれ育った日本という国が、どれだけ住みやすいのかを思い知ることができると思います。一学期間、常に緊張感をもって過ごし、振り返るとあまり楽しむことができていなかったように感じています。二学期目は、もう少し心に余裕をもって、楽しむことができればと思います。こうして前の学期の反省を次の学期に反映することができるのは、長期留学の良い点かと思います。そろそろ来年の留学の申し込みの時期ですね。紹介させていただいているように、何もかもが大胆で、个性的で、日本では体験したことばかりの留学をできるチャンスだと思います。留学希望者の皆さんは後悔のないよう、頑張ってください。

